

思い出はじけるひと時を



速報版

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2022

379号

3年生の卒業を祝う会、
「卒祝会」が開催！
高校生活最後の
思い出を創りました

57回生 卒祝会開催

3月15日(火)にグラウンドと各教室にて、57回生の「卒祝会」が行われた。今号ではその様子や生徒の声、開催に尽力したクラス委員を取材した。

大縄跳び

晴天の下、卒祝会最初の企画である運動会が行われた。グラウンドは各クラスのクラスTシャツに彩られる。大縄



担任の先生が運ぶかごを目掛けてボールを投げ入れる

跳びでは、八の字跳びで2分間の合計回数を競う。各クラス練習をはさみ競技開始。結果は、1位は168回でJ組、2位は166回でG組、3位は150回でC組となった。

玉入れ

玉入れは、1クラスで100個の玉を分け合い、クラスで1人ずつ決めた担任の先生や生徒が背負うかごに投げ入れられた玉の個数を競う。音楽が流れている間の2分以内であれば、投げ終わった玉を何度でも拾い投げ入れることができるというルールだ。

生徒たちは箱に狙いを定め「頑張れ！」と互いに声を掛け合いながら、慎重に玉を投げた。かごを背負っている先生や生徒は、走りながら生徒たちと笑顔でコミュニケーションをとることも見学している他クラスの生徒たち

ちや実況係の生徒も、競技中の先生や生徒たちを応援して大いに場を盛り上げた。結果は、1位は95個でI組、2位は89個でH組、3位が84個でA組となった。

ビンゴ企画は、新型コロナウイルス感染対策のため、各教室をZoomで繋ぎリモートでの実施となった。3学年の先生にまつわる「先生クイズ」、57回生が今まで経験してきた行事に関する「思い出クイズ」、なぞなぞの「なんでもクイズ」の3種類のクイズの正誤に加え、運動会の成績に応じてマスを開けられるというルールだ。段ボールと模造紙で作られた大きなビンゴボードはそれぞれのクラスに



Zoomで各教室のビンゴカードが写る

よって自由に裝飾されており、クラスの個性が垣間見える。球技大会の開会式などで活躍してきた比留間圭吾さん(3D)と木脇令雄さん(3H)が実況を務めたこともあり、画面越しでも大きく盛り上がった。ビンゴ終了後、全クラスに参加賞としてお菓子が、優勝

初の試みに生徒は



実行委員以外の生徒も運営に参加

クラス委員の神下望さん(3H)は、準備期間中に本部からの連絡をクラスへ共有したり、ビンゴボード作りの準備や卒祝会中のクラスへの声かけなどを行ったりしたそう。当日のビンゴゲームではクラスで運営を行い「みんなで盛り上がって楽しかったです」と振り返る。また「H組は総合優勝でき、最高の締めになって嬉しいです」と笑顔で語った。

一般の生徒にも話を聞いた。酒井美海さん(3K)は「運動不足の受験生にはちょっと辛かったです」と笑う。「思ったよりもクオリティが高く、思い出になりました」と話した。また、「先生が出てきた映像企画が面白かったです」と語るのは竹村航さん(3H)。「今までの錦城での3年間を思い返すことができました」と卒祝会を楽しんだ様子だった。(鶯・燕)

舞台企画・映像

映像企画もビンゴ企画と同様、感染対策のため各教室で映像を流すという形での実施。最初にC組、D組によるダンス映像が放映された。ハートフルでキュートな振り付けが観客を魅了。漫才と組み合わせたり、凝った編集で色鮮やかな映像にしたりするなど、様々な工夫がされていた。

そして毎年恒例、映画研究部制作の先生出演の動画が流される。『あたりまえ体操』やドラマ『ドラゴン桜』『マツケンサンバII』のパロディなど

57回生を中心として進められた、初の試みである「3年生の卒業を祝う会」。コロナ対策や準備期間など様々な制約がありながらも、無事終了を迎えた。卒業を目前にした3年生の思い思いの出作りになったことに加えて、この行事が後輩たちに引き継がれていくことを願いたい。

運動会



先生はカゴ役で参戦

卒祝会

グラフィティ!!!



競技を生実況~



個性溢れるビンゴカード



卒祝会で流れた映研の作品が後日各自宅へ送付予定！
離任された先生からのメッセージや門前先生と芦澤先生の「ドライブフラワー」セッションなど未公開シーンも沢山あるのでお楽しみに！

映研からのお知らせ！



ZOOMで進行も

	玉入れ	大縄	運動企画総合	ビンゴ
1位	I	J	H	H
2位	H	G	G	
3位	A	C	A	